

歯車

学校だより

河北町立西里小学校

令和三年一月三十一日

明日への希望

校長 船山 聡

令和三年を迎えました。

今年も西里小学校の子ども達をよろしくお願いいたします。

三学期は、転入生二名が加わり、全校で九十四名となりました。今年度の卒業生は、十九名。六年生にとって小学校最後の三学期となります。いよいよ卒業を迎えますので、特に六年生には一日一日を大切に、心に残る小学校生活を送ってほしいと思います。

始業式は放送を使って行いました。いつもはどんなに寒くても体育館で行うのですが、今年は新型コロナウイルス感染対策としてできるだけ密を避けるために、各教室で始業式を迎えました。

短い三学期を充実した日々にするために、三つのめあてを呼びかけました。一つは、強い自分をめざすこと。二つ目は、感謝の気持ちをもつこと。そして最後は、感染予防に努めることです。

だれにでも負けそうになるときがあります。連日、新型コロナウイルスから始まるテレビを見てみると、冬空のような重たい気持ちになります。だからこそ、何かをめざしてがんばる強い心と身体が必要です。体調を崩して休む子どももいますが、また元気になって登校してきます。みんなマスクをして、がんばって勉強をしています。運動や遊びで体を動かして、給食もモリモリ食べる西里小の子ども達です。

先日、里の子フェスタのDVD作製でお世話になった鈴木昭善様より、六年生一人ひとりに卒業記念のDVDをいただきました。今年で五年目になります。内容は、今年度録音した校歌の他に、里の子フェスタダイジェスト、尋常小学校校歌、西里中学校校歌、西里地区の史跡や名所の写真などが入っています。いつもは卒業式直前にいただくのですが、「今年はコロナ禍で早めに作製したので、六年生に。」と贈呈してくださいました。そこで六年生の子ども達は、お礼のメッセージを鈴木様へ贈りました。その中から、一部紹介します。

この前は、ぼくたちのためにDVDを作ってください、ありがとうございます。DVDの感想は、全校生徒の顔や西里のきれいな写真もあって楽しいものでした。このDVDを作るためには西里のいろんな地域を回ってたくさん写真をとってくれたと思います。こんなに手をかけてDVDを作っていたら本当にありがとうございます。中学校に行ってもこれを見て、西里小学校を思い出そうと思います。これからも、お体に気をつけてください。

六年 皆川 伊織

人の苦勞がわかること、それに感謝できることは、簡単そうで難しいことです。今の時代だからこそ、明日への希望と共に、子ども達に教えていきたいと思えます。

早いもので一月が終わります。春の始まりであり、一年の始まりとされる立春は、今年二月三日ということで、いつもより一日早くなります。滅多にないことだそう、いろいろな意味で、春の訪れが待たれます。



グラウンドの朝日山でスキーの練習